

PNT
東北学生支援プロジェクト 2016

第2次募集要項

2016年9月

Print Next Troops

公益財団法人 地域創造基金さなぶり

はじめに

「Print Next Troops」は、2011年の東日本大震災が起きた後に、全国の印刷関連業の有志によって組織された震災復興支援プロジェクトです。

このプロジェクトでは、日本のトップクリエイター高橋正実氏がデザインした復興支援ステッカーを販売し、その収益を原資として東日本大震災および関連の災害で被災された子どもたちへの支援を継続的に行うために、「PrintNext 基金」として次のような趣旨で活用してきました。

①生活必需品の支援、②学用品、学習機などの通常の生活に戻るための支援、③奨学金支援などの将来の日本を担う人材育成の支援です。

このたび発災後5年をこえ、3番目の将来の日本を担う人材育成の取り組みとして岩手県、宮城県、福島県に本拠地をおく大学に通う大学生・大学院生が、地域に飛び出し、様々な住民やNPO、行政等の関係者と出会い、対話をし、あの当時起きたこと、今起きていることを尋ね、学び、そして行動に移すプロセスを支援する本基金を創設しました。

大学生・大学院生の皆さんには、まずは地域に出かける計画を仲間と共に立てて頂きたいと思います。そして、その仲間と共に行動に移すことを通じて、たくさんの出会いがあり、知らなかったことと向き合い、思い悩み、壁にぶつかることもあるでしょう。そのプロセス全体が学びであり、旅の一つなのではないでしょうか。ぜひ、2016年の今だからこそできる地域とそこに暮らす方々との対話を通じて、ご自分の視野と世界を広げて頂ければと思います。

公益財団法人地域創造基金さなぶりとは

地域創造基金さなぶりは、2011年に仙台市に設立されたコミュニティ財団です。これまで、被災地域の市民活動支援や中小企業等の創業支援を目的とし、約16億円の資金を仲介してきました。東北初のコミュニティ財団として、地域の復興を願う人々の想いや願いとともに、次なるまちの暮らしを創造していくために、各種事業（資金助成等）を実施し、地域社会の発展に貢献していきます。

助成の対象となる活動

対象地域：岩手県、宮城県及び福島県内において行われるもの（沿岸部等に限定をしない）

対象期間：2016年11月15日～2017年1月31日までに実施、終了するもの

活動対象：岩手県、宮城県及び福島県に本拠地をおく大学（短期大学を含む）に籍を置く大学生・大学院生が、同地域内で復興支援を趣旨として行う活動や学生自らの学びを推進するもの

◆対象活動例◆

- 1) 地域課題の現場や当事者の話を聞きに行く視察など
- 2) 地域の多様な人々が参加可能なお祭りなどのイベントの企画・開催
- 3) 地域の芸術や文化、お祭りの実施、継承・伝承にかかる事業の実施等
- 4) 地域の子どもや高齢者を対象とした遊び場やワークショップの実施等
- 5) 仮設住宅や災害公営住宅内におけるつながりづくりなどの各種イベントの開催
- 6) 地域の合意形成に向けた勉強会・講演会の実施
- 7) 地域の住民があつまる場（お茶っ子やサロン）等の実施
- 8) 震災支援における課題等のための調査・研究、或いは発表
- 9) 大学機関が実施するインターンシップへの参加

※原則として、被災した地域における支援を必要とする方々や、当該地域への支援モデルになるような活動、その一環として取り込まれる活動であることを前提とする。

◆対象外の活動◆

- 1) 個人・個人宅のみを対象とした活動
- 2) 1～2年程度の継続した活用が見込めない物品や什器や設備等の購入や設置
- 3) 仮設住宅等の個別住居部、共用部等、施設、設備等の改修・修繕など
- 4) 印刷費のみ、機材や物資の購入のみの活動
※購入した資器材を用いるイベントや活動は対象とする。
（例：ガスコンロや鍋等の調理器具の購入＋食事会の実施）
- 5) 政治・宗教活動
- 6) 反社会的勢力が関与している活動
- 7) 寄付、基金の創設や充当
- 8) 岩手県、宮城県及び福島県外に本拠地を置く大学（例：サテライトキャンパスなど）に所属する学生団体が実施する事業

助成の対象となる団体等

下記の 1 か 2 のいずれかを満たしており、3 と 4 についても合意ができること。

- 1) 岩手県、宮城県及び福島県に本拠地を置く大学（短期大学を含む）で、大学生・大学院生が中心となって組織されている活動やサークルで、5 人以上の構成メンバーがいること
- 2) 岩手県、宮城県及び福島県に本拠地を置く大学（短期大学を含む）の授業の一環として、学生が大学外の地域において活動をおこなう研究室（但し、学生の主体的なかかわりを重視する）

上記の（1）か（2）に加えて・・・

- 3) 決定直後の授賞式（会計研修を含む）、並びに事業終了後に予定している報告会に参加できること
- ※ 参加時の交通費について、授賞式は 1 人まで、報告会は 2 人まで本助成事業より負担いたします
- 4) 報告書の提出と資金の管理ができること
- ※ 資金の管理：入金と出金の記帳、及び領収書の保存・管理ができること

備考

- 原則として、法人格を有するに至る前段階の学生の主体的な活動を支援する事業です。但し、法人格を有している団体からの申請を妨げるものではなく、申請活動の企画・実施が学生の発意であり、学生が活動の中心となって行われる取り組みであること、また大人が主体となって行われる事業との区別が明確であることを条件とします。
- 研究室での申請も可能性ですが、学生主体の団体等からの申請を審査時に優先します。また予算規模も、小規模のものを審査時に優先することがあります。
- 研究室で申請する場合は、大学の授業やゼミや研究室の授業の一環として行われるものを前提とし、指導教員等にかかる費用（人件費を除く）も認めるものとします。但し、学生のかかわりや発意を審査時に注視をし、ゼミとしての取り組みであっても、学生のかかわりが明確でないものは、優先順位が下がることがあります。
- 大学教員のかかわりは必須ではなく、また審査に加点されることもありません。むしろ、学生が主体的に考え、悩み、行動する企画と機会を創出することを歓迎します。

助成に関する主要な審査基準

- 1) 本事業からの支援を受けようとする取り組みや活動の目的が明確であること
- 2) 本事業からの支援を受けることで、学生自身の学びや成長、経験を深めることにつながる取り組みが含まれていること（形態や期間などは問わない）
- 3) 視察や研修等の場合は、本事業からの支援を受けて取り組まれる活動が、その後に、どのような展開につなげていこうとしているのかが検討されていることが望ましい
- 4) 過去に取り組んだことがある活動で申請する場合については、本事業からの支援を受けることで期待できる展開や次のステップが明確であること
- 5) 活動を行う、実務的なチームや体制があること

助成期間

2016年11月15日 から 2017年1月31日まで

助成金額

- A) 5万円 ※第1次、2次合わせて12～18件程度を想定
B) 10万円 ※第1次、2次合わせて 3～6件程度を想定

対象となる費用の例

- ・旅費交通費（宿泊費も含む）、レンタカー・ガソリン代、食材・材料費、活動に必要な資機材の購入・レンタル費、外部講師謝金、印刷製本費、研修や視察にかかる費用等

備 考

- ・申請団体のスタッフへの報酬は助成対象外とします。
- ・食材や材料費等の場合は、予算書に想定している単価の記載（〇円×〇人分）をお願いします。
- ・旅費交通費に関しては、必要と想定している参加人数の記載をしてください。タクシーについては、やむを得ない場合は支援対象としますが、公共交通機関や貸し切りバス等の利用を検討してください。

申請方法

応募受付締切までに、応募書類一式を下記の事務局あてに「郵送等または電子メール」でお送りください。FAX や持参による提出は受付けておりません。郵送等をする場合は、申請書類や添付書類は、ホチキス止めをしないでください。

必要書類は、地域創造基金さなぶりのウェブサイトからダウンロードできます。

公益財団法人地域創造基金さなぶり URL <http://www.sanaburifund.org>

➤ 応募受付締切：2016年10月14日（金） 消印有効

※電子メール受付：2016年10月17日（月）午前11時59分

➤ 必要書類

申請書（指定様式）

➤ 必須ではないが、可能な範囲で添付すること

- ・規約など、組織の目的や責任者を文書に定めたもの
- ・昨年度の活動報告書、活動にかかる決算書
- ・チラシやパンフレット等活動がわかるもの
- ・研究室等で、授業の一環として行われるものを申請する場合は、当該授業のシラバスや実施要項等を添付すること（リンクではなく、当該ページをPDF化したもの）。

助成に係るスケジュール

【選考】

- 1) 選考は審査委員会によって行われ、申請内容の目的や有効性、予算などを検討し、採択事業を決定します。
- 2) 申請内容に確認事項がある場合など、必要に応じて電話聞き取り調査をさせていただきます。

【助成決定】

2016年11月中旬に電話・文書にて通知します。

【助成金の支払】

活動の実施に関する覚書を締結の上、指定の口座にお振込致します。

なお、振込先の口座は組織の代表者等名義の口座であること、かつ名義人の生活費と本助成金を用いて使う活動費を明確に区別・管理できることが条件となります。そのような口座を申請時点でお持ちでない場合でも申請はいただけますが、助成決定後新規に口座を開設頂くこととなりますので予めご了承ください。

【活動開始】

2016年11月15日以降の、助成の決定後の活動開始（助成金を充当した活動）が可能です。

【報告書の提出】

- 1) 活動終了後2週間以内に、所定の様式に基づいた報告書（会計報告を含む）と活動の様子が分かる写真（画像データ）をご提出いただきます。
- 2) 助成金の用途を明示するに当たり、会計報告書と合わせて当該活動にかかる領収書をすべて提出いただきますので、領収書は適切に保管・管理をお願いします。会計報告書上の不備や領収書の紛失等により当該活動に関する支出と認められない場合、助成金を返金いただく場合がありますのでご注意ください。なお採択確定後、会計についての研修を予定しておりますので、ぜひご参加ください。

【その他】

- 1) 申請書類の不備や送付漏れ、記載間違いなどにより不採択となる場合がありますので、申請書類の送付にあたっては十分にお気をつけ下さい。
- 2) 本助成に申請をお考えの場合、対象となるか否か、また書類の作成方法に関して、ご不明点等がありましたら電話・メール等で事前にご相談いただくことをお勧めいたします。

【個人情報の取り扱いについて】

申請にあたって提出いただく書類に含まれる個人および団体の情報は、当支援事業についての連絡、審査、審査結果通知をする際にのみ利用し、審査員、Print Next Troops、並びに公益財団法人地域創造基金さなぶり以外の第三者に開示・提供いたしません。

申請書の提出先／お問い合わせ先

「PNT 東北学生支援プロジェクト」事務局

公益財団法人地域創造基金さなぶり

〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町 1-2-23 桜大町ビル 303

TEL:022-748-7283 FAX:022-748-7284 E-mail:pnt@sanaburifund.org

お問い合わせ：月曜日～金曜日（祝祭日を除く） 9：30～18：30 担当：雨田・鈴木

第1次採択団体のご紹介

第1次募集では、以下の団体の取り組みを評価し助成を決定しました。申請される際の参考としてお読みください。また、不明な点は、メール・電話にかかわらず、お気軽にご相談ください。

1. 岩手大学基礎ゼミ（麦倉ゼミ）

代表者名：中野 敦揮

活動地域：岩手県

➤ 事業の概略

地区運動会への参加を通じて、運営のボランティアを担うとともに地域住民との交流を深める。

➤ 採択のポイント

若者である学生が運動会へ参加し、地域を活気づけることで地域住民のエンパワメントにつながる。また運動会への参加を通じて地域コミュニティを体験できる機会にもなっている。

2. 岩手大学自然史探偵団

代表者名：小田嶋 祐希

活動地域：岩手県

➤ 事業の概略

小学生を対象とした海の生き物に関するワークショップを開催し、海の生き物の生態系や多様性を学び、海の豊かさについて理解してもらう。

➤ 採択のポイント

津波による海への恐怖感や防潮堤工事等で海と触れる機会が減った子どもたちにとって、海の生き物に触れ、自分たちの資源である三陸の海について知る機会となる。またワークショップは他地域での展開も期待でき、そのモデルケースになりうる。

3. 千葉本演習

代表者名：中川 凌吾

活動地域：福島県

➤ 事業の概略

地域のコミュニティセンター主催の事業やお祭りへの参加、地域住民へのアンケート調査を通して、地域住民の自主活動の現状や住民の地域への関わり方に関する現状把握と課題の整理を行い、その解決策を探る。

➤ 採択のポイント

地域の抱える課題とその背景について、実際に地域に入り住民とともに体験し、学生の視点で整理・課題解決に取り組もうとしている。

4. 福大 KUNIMI 探検隊

代表者名：大越 惇

活動地域：福島県

➤ 事業の概略

町の特産品である焼き物の体験イベントとパンフレット作成を通じ、地域の魅力を外部へ広く発信する。また地域住民への聞き取り調査を行い、住民と共に地域活性化について考え、話し合う場を設ける。

➤ 採択のポイント

震災による人口流出に苦しむ地域に対し、学生の視点で地域資源の再発掘や地域活性化への取り組みを行っている。

5. 地域活動発表会 福島 実行委員会

代表者名：平 博寿

活動地域：福島県

➤ 事業の概略

福島県内で自然、農業、林業、教育、食をはじめとする各分野に携わる人々や学生が活動の発表を行う場を設け、学生と県民がつながる機会を創出し、持続可能な活動や生活の実現を目指す。

➤ 採択のポイント

大学を横断した活動であり、また様々な分野の人を巻き込んだ活動である。学生と県民との関係構築のみならず、活動を通して学生自体多くの学びや体験ができることが期待される。

2016年 月 日

「PNT 東北学生支援プロジェクト 2016」
申請書・予算書

公益財団法人地域創造基金さなぶり

理事長 大滝 精一般

団体名 _____

代表者名 _____

| | | | |
|------------|-----|-------|-------------|
| 団体名 | | | |
| 活動開始時期 | | 年 月設立 | メンバー 人 |
| 団体代表者 | 氏名 | | |
| | 住所 | 〒 | |
| | 連絡先 | TEL : | Eメール (PC) : |
| 団体副代表者 | 氏名 | | |
| | 住所 | 〒 | |
| | 連絡先 | TEL : | Eメール (PC) : |
| 会計・事務連絡担当者 | 氏名 | | |
| | 住所 | 〒 | |
| | 連絡先 | TEL : | Eメール (PC) : |

申請主体の活動目的

※皆さんの集まりは、どのようなことを行う、実現するための集まりですか？

活動の開始経緯

※団体やサークル、あるいは授業に連動したプロジェクトなど、様々なケースがあるかと思えます。

それぞれの活動は、いつ、誰が、どのようなことをきっかけにして活動を設立・開始しましたか？

現在の取り組み

※団体やサークル、あるいは授業に連動したプロジェクトなど、申請書を書いている時点で、どのような活動・取り組みをしていますか？ 内容、頻度、参加者数などとあわせてお書きください。

これまでの活動や取り組み

※団体やサークル、あるいは授業に連動したプロジェクトなど、これまでどんな取り組みをしてきましたか？もしあればお書きください。

申請活動

| | | | |
|--------------|--|------|-------------------------------|
| 活動名 | 簡単な名称を付けてください。 | | |
| 活動期間 | 201 年 月 日～201 年 月 日 | 申請金額 | 5万円 / 10万円 ※いずれかを丸で囲んでください |
| 活動地域 訪問地域 | イベント等の実施場所や訪問場所が決まっている場合は詳細に記入して下さい。 〇〇仮設、〇〇市民センター、〇〇公園等 | | |
| 対象者・ 訪問先 | ・イベント等の活動を行う場合は、どんな方々（年齢層、状況等）を対象に行いますか？ ・視察等の場合には、どのような方を訪ねますか？ いずれの場合でも人数規模を教えてください。イベント等は想定している参加者規模、視察等の場合は、その視察等に参加する想定参加者数 | | |
| 活動背景や 経緯 | なぜ今、この取り組みをすることになりましたか？ どのような経緯やきっかけでこの活動や取り組みを始めることになりましたか？ | | |

| | | | |
|-----------|--|------------|--|
| 活動目的 | 今回の活動・取り組みを通じて、どのようなことを実現したいですか？目的としていることはどのようなことですか？ | | |
| 活動内容 | 今回実施する予定の活動・取り組みを、現時点での計画でよいので、なるべく詳しく記入してください。 (いつ、どこで、誰が誰に、何を、何回/1回何時間位、どのように行うのか等) | | |
| 活動実施協力者氏名 | 申請活動における役割 | 所属等 | |
| 〇〇 〇〇〇 | 教授 | 〇〇大学 〇〇 | |
| △△ △△ | | △△町社会福祉協議会 | |
| □□□ | 会長 | 〇〇町内会 | |

予算

| 費目 | 詳細 | 金額 | 助成申請 |
|-------|----------------------------|----|------|
| 交通費 | 〇〇⇄△△バス往復 (***)円) ×*回 | 円 | ○ |
| 消耗品費 | 模造紙、ふせん、サインペン | 円 | |
| 茶菓子代 | 茶菓子、飲み物 (10名分) ×3回 | 円 | ○ |
| 印刷製本費 | チラシ (*円×50枚)、ポスター (*円×25枚) | 円 | ○ |
| 会場借上費 | ***円/h×3時間×3回 | 円 | |
| 合計 | | 円 | |

※助成申請…総予算のうち、助成金に申請したい費目・金額に○をつけてください。

| | | |
|--------------|-------|---|
| 収入内訳 | 助成金 | 円 |
| | 他助成金※ | 円 |
| | 参加費 | 円 |
| | 自己資金等 | 円 |
| 合計 (予算合計と同額) | | 円 |

※現在応募中またはすでに採択が確定している助成金がありましたら、下記に記載願います。

| 助成事業名 | 助成期間 | 金額 | 申請中 / 採択確定 |
|-------|------|----|------------|
| | | | |
| | | | |
| | | | |

申請団体メンバー表

申請活動の実施体制について、活動に携わる主要なメンバーをご記入ください。

| 氏名 | 年齢 | 大学、所属団体 | 学年 | 申請活動における役割 |
|----|----|---------|----|------------|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

※必要であれば、行を追加して記入してください。

自由に一言

※設問項目で書ききれなかったことや申請活動に対する想い、また審査員へのメッセージなど、ご自由にご記入ください。